

ここだけは譲れない!

一点豪華の用品選び

【巻頭特集】



自分流
ゴージャスの
流儀



ライトのアップグレードで先行き明るいカーライフ

【バイヤーズガイド】

自動車照明 ビルドアップ



edirb

161SC & 162SC

Premium debut!!

美しく上品に座れる最上級Premiumシート、
edirb 161SC/162SC。
ホワイトを基調とした
シリコン素材を採用して、新登場!!

NEW

edirb 161 SC

(スタンダードクッション) BRIDE GIASⅢ STANDARD CUSHION

edirb 162 SC

(ロークッション) BRIDE GIASⅢ LOW CUSHION

¥372,900(税込)

- スチールフレーム
 - カーボン製シェル(CFRP)
 - シリコン(合成皮革) ●クリアホワイト
 - 難燃生地 ●保安基準適合モデル ●日本製
 - 着座センサー搭載(座面部)
- ※車種によっては、対応できない場合があります。

●重量:約15.0kg(参考数値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様

車検もOK!



写真のモデルは、
edirb 161SC(G61SC1)です。

INTERIOR GUARD

インテリアガードは、
NEW株式会社が生産する内装コーティング剤で、
全国の国産・輸入車正規ディーラーで取り扱われている商品です。



BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号 電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

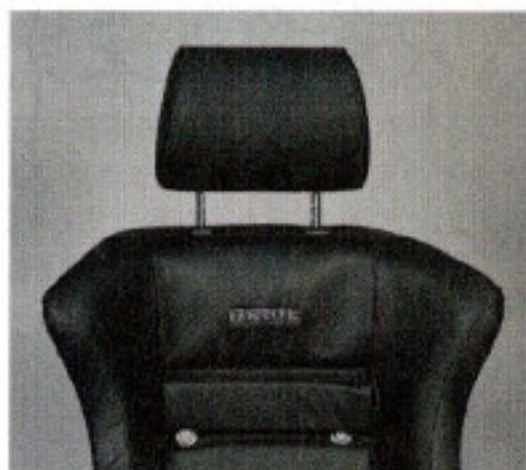
ブリッド&エディルブの最新情報は、こちら!
<http://bride-jp.com>



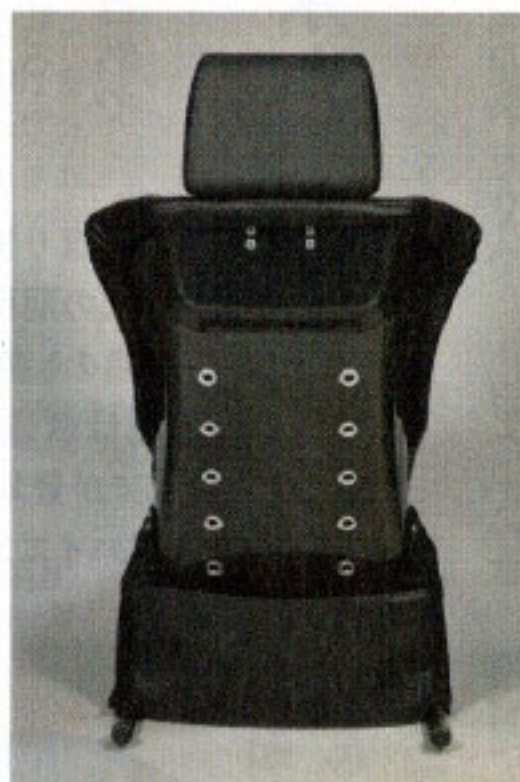
旧車向けモデルに ヘッドレストを追加

ローバックモデルのHISTRIXのシェルデザインをベースに、着脱式ヘッドレストを固定する金具をインサートしたシート。'70〜'90年代のネオクラシックカーに特にマッチする。

BRIDE
HISTONI
価格：23万7600円



HISTRIXと本体のデザイン的には共通だが、背面は袋状のモノコック構造にしてヘッドレストを装着する金具を保持できるようにしている。ヘッドレストは脱着も高さ調整も可能。



長く使うために
擦れやすい
場所をカバー



edirbのシートはもともと擦れに強い素材を使っているが、サポートの張り出しが大きいので、長く使っているとどうしてもサポート部が傷みやすい。そこでより長くシートを使えるように、腰部と腿部のサポート部を保護するプロテクトカバーが登場(161/162用、171/172用)。ステッチカラーは3色展開で、ニーサポートのサイドはedirbロゴが入る。



カラーは、シート本体に合わせて、グレー、青、赤の3色のステッチのものが用意される。

汚れにくく
耐候性にも優れる

白いシートなんて、実にカッコいいではないか！ いっぽうで多くのひとがすぐに心配になるであろうことが、表皮の汚れだ。しかし心配ご無用。これは、汚れが付着しにくく、付着したとしても落としやすい新素材を採用したシートなのだ。

edirb(エディルブ)161SC/162SCはクリアホワイトのシリコン(合成皮革)を表皮に使用する。この素材は、生地メーカーから「汚れが付着しにくく、付着しても簡単に落とすことができる」として提案されたものだという。そこでブリッドでは、「これなら白いシートが作れる！」と開発に着手したのだ。

じつは30年以上前にブリッドは白いシートを作ってみたことはあるが、やはり汚れやすかったために、その後はラインアップしてこなかったのだという。しかし、このシリコン表皮であれば、白さを保てると判断したのだ。

そして、試作品を実際に東京オートサロンなどのショーに展示して来場者に座ってもらい、従来の白いレザーよりも圧倒的に汚れないことを

確認して発売に至った。

シリコン表皮は汚れが付着しにくいだけでなく、高温や低温、紫外線など、表皮が劣化しやすい要因に対しても耐久性が高く、白さと質感が長持ちする。それだけでも十分な耐久性はあるのだが、ブリッドではさらにインテリアガード(内装用のガラスコーティング)を施工し、耐久性、防汚性、抗菌、抗ウイルス、防カビ効果を付与して付加価値を高めている。

格調高く、気品のある白を保ち続けるこのシートは、現代の高級スポーティカーにぴったりだ。

また旧車をターゲットにした『HISTONI』も新登場。

STONI(ヒストニー)も新登場。従来からある『HISTRIX(ヒストリックス)』は旧車に似合うローバックシートとして人気だが、ヘッドレストのない設計であった。そこで同様のシェルデザインながら着脱式ヘッドレストの装着を可能にしたモデルを開発。ヘッドレストがないと車検を通らない年代の旧車もこの雰囲気を楽しめるようになった。

どちらも、愛車の雰囲気ガラッと変えるのに効果が大きいそう。これは想像できるだろう。愛車をより自分好みにカスタムしたいオーナーには、シートの交換が絶大だ。

ユーザーの
特別な嗜好に対応

シート

[SEAT]

市販車の純正シートは幅広いユーザーを想定して非常に無難なものになっている。それを自分の好みに合うものに交換することで、座り心地がよくなるだけでなく、一気に内装がスタイリッシュになる。ここではそんな特徴的なシートの新製品を紹介しよう。

まとめ：斎藤精一郎 写真：水川尚由

白の贅沢が いつまでも



フルバケットシート並みのホールド性を持ちつつ、リクライニング機構による快適性も備えている。



座面と背面にはキルト加工を施す。クッションの厚みがあるため、快適性が向上している。

BRIDE
edirb
161SC /
162SC
価格：各\$7万2900円



ブリッドのプレミアムブランドedirbから発売されたクリアホワイトのシート。161SCと162SCの違いは腿部のクッション形状のみで、162SCは膝裏の厚さを161SCの3分の2に抑えたロークッション仕様になっている。



ベースとなったのはカーボンのシェルを採用したリクライニングバケットシートの『edirb161/162』だ。

問い合わせ
052-689-2611
<https://bride-jp.com>